

新生ふくしま復興推進本部

イノベーション・コースト構想

ロボットテストフィールド

H28-29

主に災害対応用ロボットの検証・運用・訓練を支援

国際産学官共同利用施設(ロボット)

H28-29

廃炉・災害対応・農業など様々なロボットのための産学官共同研究を支援

楡葉遠隔技術開発センター

(H28.4 本格運用開始)

試験棟 研究管理棟
廃炉用ロボットの研究開発を支援

浜通りロボット実証区域

橋梁、ダム、オープンスペース等を実証試験地として提供

応募企業数 14機関31事業
実証試験 空中5件 水中3件

現場導入

○ロボットを先駆的に導入する企業への前例のない大胆な支援(3/4補助)により、**ロボット地産地消を推進**。現場で抽出の課題はロボット企業にフィードバック・改良

○医療・介護現場での負担軽減等を図るための実証

→ **51企業130台**

→ **医療 12施設 介護 29施設**

建設業
〈石川建設工業(株)〉

南相馬市

物流業
〈株帝北ロジスティクス〉

福島市

金融業
〈株大東銀行〉

福島市

浜通りロボット実証区域

産業用ドローン
〈MTS&プランニング〉

福島市

移乗・移動ロボット
〈アイザック〉

会津若松市

先端ICTラボ

会津大学

医療用ロボットスーツHAL
〈CYBERDYNE〉

郡山市

福島県ハイテクアカデミー
FUKUSHIMA TECHNOLOGY GYMNASIUM

福島市

4腕式極限作業ロボット
〈菊池製作所〉

南相馬市

山林火災対応ロボット
〈会川鉄工〉

いわき市

福島工業高等専門学校
Fukushima National College of Technology

郡山市

研究開発

会津大学

大型災害対応ロボット (援電) H27-29

Dronet (ドローネット)

出典: (株)会津ラボ

福島大学

超小型・高精度アクチュエータ

出典: (株)ミューラボ

Current I-PENTAR

福島大学初のベンチャー企業(株)ミューラボと連携、小型減速機の要素技術を開発。将来は内視鏡装置や介護ロボットへの技術応用を目指す。

福島県農業総合センター

アイガモ(除草)ロボット(会津大学と共同研究)

ネットワーク形成

廃炉・除染ロボット技術研究会を中心とした産学連携(約140機関)

東京電力福島第一原発関連企業とのマッチング会
廃炉推進カンパニー、プラントメーカー、ゼネコン等 約250名来場

郡山市

普及・啓発

「ロボットフェスタふくしま」の開催

ロボットに対する県民、特に若い世代への啓発

来場者数: 約4,800名

郡山市

人材育成

高校・大学等でのロボット人材育成

〔高校〕
郡山北工高、白河実業高、小高工高の3校で、ロボット製作の高度化推進、優れた産業人材を育成

〔大学等〕
福島大学、会津大学、テクノアカデミー、福島高専における人材育成

白河実業高

【イノベーション・コスト構 想拠点整備】

- ロボットテストフィールド
陸海空全てを対象としたフィールドロボットの実証試験地
- 国際産学官共同利用施設
ロボット開発に携わる大学・企業等の共同利用施設
- 檜葉遠隔技術開発センター(JAEA)



【県内技術力向上並びに研究開発推進】

- ロボット関連産業基盤強化事業《商工労働部》 ※中小企業向け
- 産学ロボット技術開発支援事業《商工労働部》 ※会津大連携
- 被災地支援ロボット開発事業《商工労働部》 ※ハイテクプラザ連携
- フィールドロボット研究開発事業《商工労働部》 ※同上
- 医療福祉機器等開発ファンド事業《商工労働部》 ※企業向け(継続事業のみ)

【イノベーション・コスト構想関連】 (国費)

- 地域復興実用化開発等促進事業《商工労働部》
廃炉、ロボット、エネルギー、環境・リサイクル、農林水産等
- 農林水産分野イノベーション・プロジェクト推進事業《農林水産部》
ロボットトラクタ、除草ロボット、苗木植栽ロボット、農業用アシストスーツの開発

【浜通りロボット実証区域】 (経産省、内閣府、県)

- 橋梁、ダム、オープンスペース等を実証試験地として提供

【実証加速に向けた国家戦略特区等への提案】

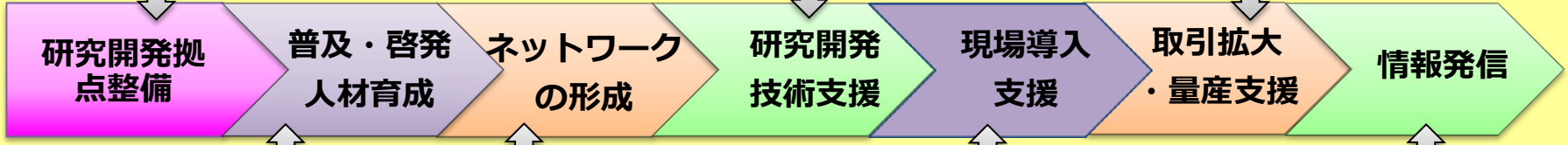
- 電波法等の規制緩和により福島でしかできない実証試験が可能

【先進企業などとの販路開拓】

- 廃炉・除染ロボット技術研究会
による展示会・商談会の実施
・コーディネーター設置
・廃炉カンパニー、プラントメーカーなどとの取引仲介



◎ 量産に向けた工場新增設・設備投資への支援、関連産業の集積(ふくしま産業復興企業立地補助金、津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金、自立・帰還支援企業立地補助金、ものづくり補助金(国費))



【普及・啓発】

- ロボットフェスタふくしま開催《商工労働部》等によるロボット産業に対する県民理解促進



【人材育成】

- 産業人材育成に関する支援
- 福島大学、会津大学、工業系高校、テクノアカデミー、高専等との連携・協力

【ネットワーク構築】

- 廃炉・除染ロボット技術研究会(約140機関)を中心とした産学連携



- 医療福祉機器産業協議会(約250機関)による産学連携

【現場への導入】

- 介護施設、病院などへのロボット導入モデル事業《保健福祉部》
- 災害対応等ロボット導入事業《商工労働部》



※ 県内企業発ロボットの導入を促進
⇒ ロボットの地産地消

地元ロボット関連産業の振興
+
ロボット活用による県民生活の質の向上

【情報収集・発信】

- 福島・国際研究産業都市推進調査・発信事業《企画調整部》



「ロボット産業革命の地ふくしま」の形成